

さきやま
崎山ゆんた
(本調子)

1. 崎山ゆ^{さきやま}新村ゆ^{あらむら}立て^たいだす
サーユイユイ
シュラヨーイーヌハリユバナウレ

崎山の新村を建てたのは

2. なゆぬゆん
いきやぬついにやんどう^た立て^たいだね
()

どうして、どういう理由で建てたのか

3. 野浜^{ぬばま}ふつ^{かにくずい}い兼久地ぬゆやんどう
()

野浜という港と兼久地という土地に
恵まれていたから

4. 波照間^{はていろま}ぬ下^{すむやいま}八重山^{うつい}ぬ内から
()

波照間からやってきたのだけれど

<参考掲載>

5. 許^{ゆる}しゃひーり^{ちむ}肝^{しゅ}しゃひーり^{まい}ゆ主ぬ前
()

許してください、哀れんでください。

<解説>

波照間から西表島へ強制移住させられた村人があまりの開拓の辛さに歌ったもの。
崎山村は港と土壤に恵まれていたものの、急傾斜のため栄えることはなく、
マラリヤの蔓延も災いし廃村となった。

<八重山>

合 老 四 上 尺 老 工 七 五 合 七 五 工

工 老 四 工 上 尺 工 七 五 合 工 合 尺 老 四 工 老 上 四 工

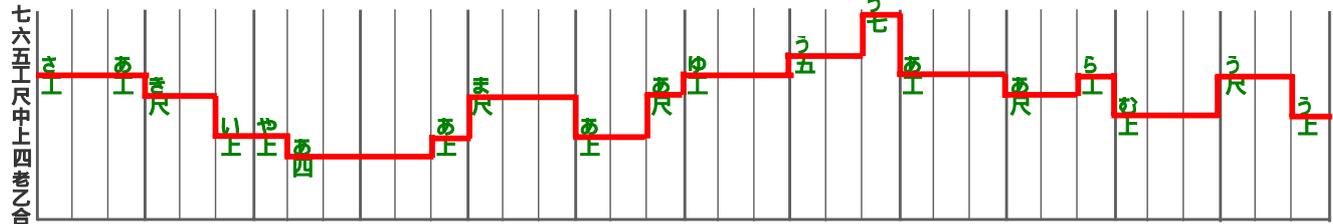
合 老 四 上 尺 老 工 七 五 合 七 五 工

工 老 四 工 上 尺 工 七 五 合 工 合 尺 老 四 工 老 上 四 老

みなと一まへ

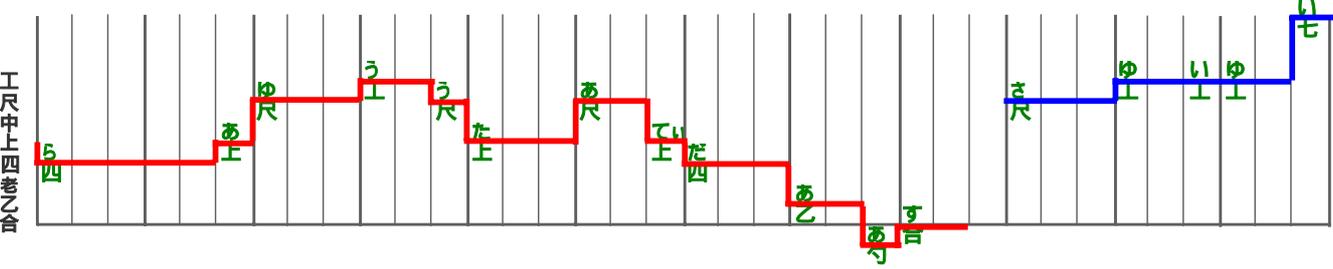
少しスライドさせて余韻に変化をつけます。

工	老	尺	老	四	老	四	上	尺	老	上	尺	工	老	五	七	工	合	尺	工	上	老	上
さ	あ	き	い	や	あ	あ	ま	あ	あ	ゆ	う	う	あ	う	う	あ	あ	ら	む	う	う	う
な	あ	ゆ	う	ぬ	う	う	ゆ	う	う	ん	ん	ん	い	い	い	あ	い	き	や	ぬ	う	う
ぬ	う	ば	あ	ま	あ	あ	ふ	う	う	つ	い	い	い	か	あ	あ	に	く	う	う	う	う
は	あ	て	い	い	ろ	お	お	ま	あ	あ	ぬ	う	う	う	う	あ	う	む	や	あ	い	い



四 老 四 上 尺 老 工 尺 上 老 上 四 工 乙 尺 合 上 尺 老 工 尺 工 七

ら	あ	ゆ	う	う	た	あ	て	い	だ	あ	あ	す	さ	ゆ	い	ゆ	い
つ	い	に	や	ん	ど	う	た	あ	て	い	だ	あ	あ	ね			
ず	い	い	ぬ	う	う	ゆ	う	や	ん	ん	ん	ど					
ま	あ	ぬ	う	う	う	う	つ	い	か	あ	あ	ら					



五 合 工 尺 工 老 工 老 四 合 上 尺 工 七 五 尺 工 合 尺 老 四 工 老 上

し	ゆ	う	ら	よ	お	おい	い	い	ぬ	う	は	あ	り	ゆ	う	ば	な	あ	う
---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四 工

れ

1. 崎山ゆ新村ゆ立ていだす サーユイユイ シュラヨーイーヌハリユバナウレ
2. なゆぬゆん いきゃぬついにゃんどう立ていだね ()
3. 野浜ふつゝ兼久地ぬゆやんどう ()
4. 波照間ぬ下八重山ぬ内から ()
5. 許しゃひーり肝しゃひーりゆ主ぬ前 ()

尺 …少しスライドさせて余韻に変化をつけます。